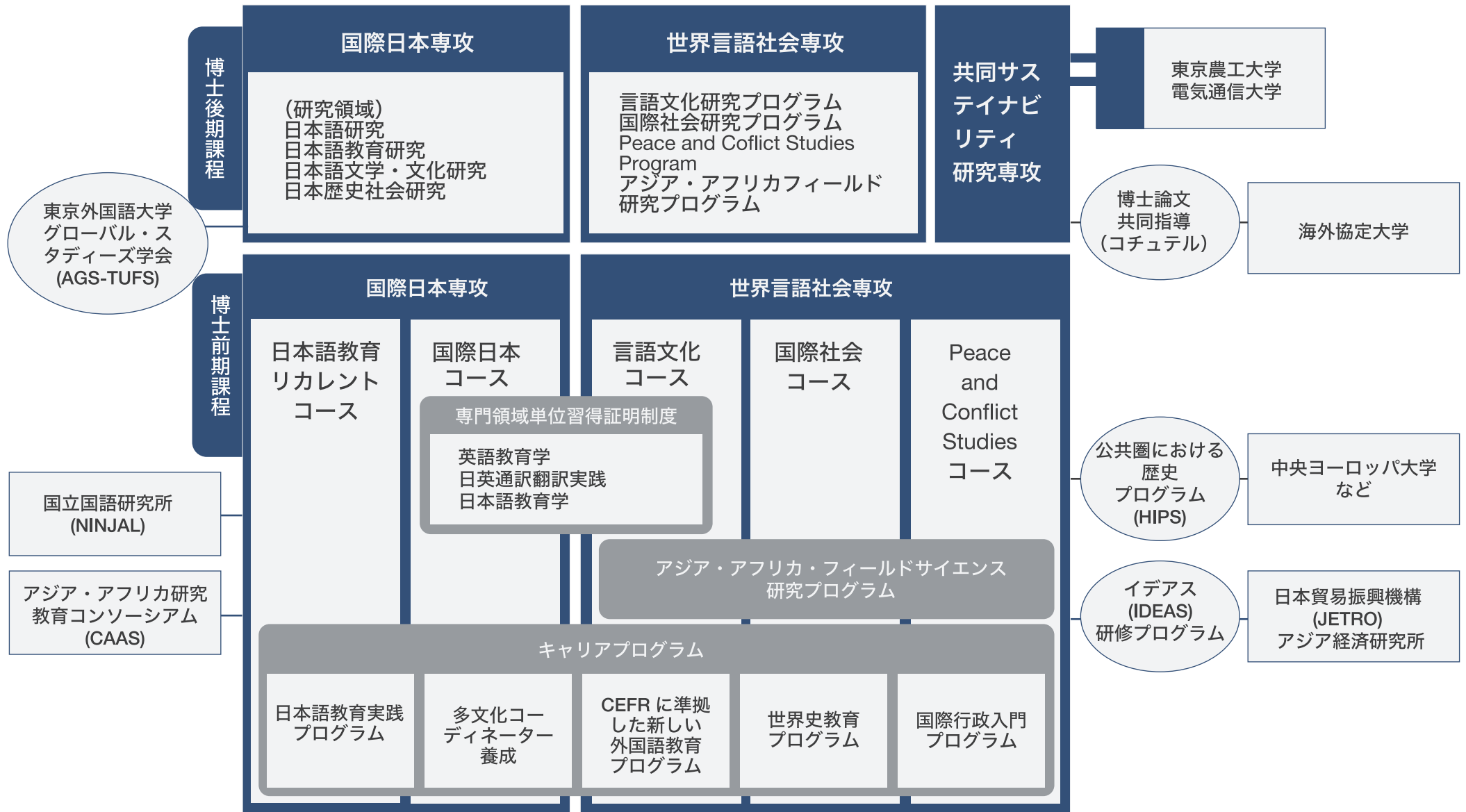


大学院総合国際学研究科

博士前期課程・博士後期課程



2021 年度 アジア・アフリカ フィールドサイエンス プログラム要項

アジア・アフリカフィールドサイエンス(AAFS)プログラムとは：

世界言語社会専攻の3つのコースを超えたアドオン・プログラムとして、本学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）教員によって提供されるものです。

AAFIS プログラムの特徴：

「フィールドサイエンス」とは、臨地調査(フィールドワーク)を理論的・実践的に高度化した研究手法です。AAFIS プログラムでは、このフィールドサイエンス的手法に重点を置いた研究を軸にアジア・アフリカの諸地域に焦点を当てた言語学、人類学・民族学、歴史学、地域研究の研究者の養成に力を入れています。

プログラムへの参加・修了：

プログラムに参加するためには特別な登録手続きはありません。AAFIS プログラムで提供される以下の授業の中から、2年間に10単位以上取得した学生を、プログラム修了者とします。履修する授業の組み合わせは自由ですが、同じ教員が担当する授業は繰り返し履修してもプログラム修了要件の10単位には1回（2単位）分しか含めることができません。

- アジア・アフリカフィールドサイエンス基礎（言語文化/国際社会共通）
- アジア・アフリカフィールドサイエンス実践研究（言語文化/国際社会共通）
- アジア・アフリカフィールドサイエンス言語研究（言語文化）
- アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究（国際社会）

☆質問などは、担当の飯塚正人まで：masato@aa.tufs.ac.jp

東京外国語大学大学院
博士前期課程
ダブルディグリープログラム
「公共圏における歴史」
History in the Public Sphere

h₁ps

リスボン「地理上の発見の像」➡



HIPSで探究する4つのテーマ

1. 記憶の制度化と歴史の政治化

- 過去の記憶が集合的記憶として制度化されるメカニズム、紛争化する記憶と歴史のもつダイナミズムを理解する。

2. 歴史の視覚的表象とメディア化

- 現代社会では、歴史像は表象とメディアを媒介として生産され、集合的記憶に大きな影響を与える。実習を通してメディア化を通じた歴史の生成の機制を学ぶ。

3. 包摂と排除の歴史

- 歴史と集合的記憶は、現実社会における包摂と排除をもたらしてきた。「公共圏における歴史」が紛争の危険水域に達しないための方法を考える。

4. ネイション・地域・グローバル史の交錯

- 地域・国家・文明圏を超えて、上述の3つのテーマを横断的に比較研究するための方法論を習得する。

ダブルディグリーとは？

	通常	ダブルディグリー (HIPSプログラム)
東京外国語大学	2年→修士 入学金・授業料	2年半 修士 & MA 外大分の入学金・授業料のみ
中央ヨーロッパ大学	2年→MA 入学金・授業料	

- 通常、2つの大学で修士号を得るためには、2校に授業料を納め、4年間の就学と、4年分の授業料、2つの修士論文の執筆が必要です。
- ダブルディグリーでは、1校分(ただし2年半相当)の授業料、2年半の就学、1つの修士論文(英語)の執筆で、2つの修士号を得ることができます。

なぜ可能になるの？

1. 単位の振替

本学とEU側大学で類似の授業が開講されている場合、一方で取得した単位を相手側の単位に振り替えることができる(10単位まで)。

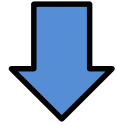
2. 1つの修士論文(英語)

修士論文は英語で1本執筆し、双方の大学が合同で審査を行う。

3. 参加者のみなさんの努力！を支えるサポート体制

勉強に集中してもらえるように、経済面、事務手続きなどをサポート

- EU側の授業料を免除、留学奨学金に優先枠
- 寮の手配、滞在許可申請などを代行



中央ヨーロッパ大学(ブダペシュト/ウィーン)
1991年創設、ハンガリー、オーストリア、米国による認可
英語で教育を行い、世界中から学生が集まる大学院大学



新リスボン大学
1977年設立の社会科学人文学研究科(学際的研究)
デジタル・ヒューマニティーズにも強い



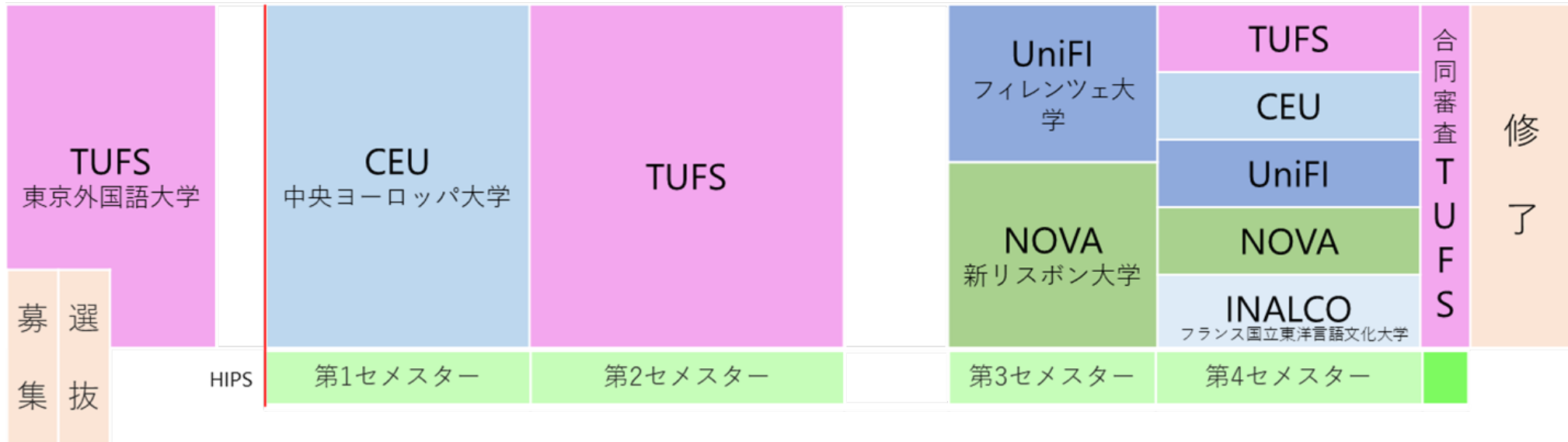
フィレンツェ大学
中世からの歴史(ボッカッチョ、フェルミ・・・)
「歴史・考古・地理・芸術・演劇学部」芸術、文化遺産研究が特徴



フランス国立東洋言語文化大学(パリ)
1699年設立 非西欧圏100か国の言語・文化・社会
帝国主義との関係から、植民地研究、ポストコロニアリズム研究もさかん

2年半の流れ

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
春学期				夏学期		秋学期			冬学期		春学期				夏学期		秋学期		冬学期		春学期			夏学期					
1年次												2年次												3年次					



HIPSプログラム開始

9月下旬 (EU側で選抜された学生とCEUで合流)

世界中から集まる学生たち



本プログラムはEUのErasmus Mundusの支援を受けています。Mundusは世界を表すラテン語で、EU側での選抜には、EU圏出身者のみならず、世界中から意欲と能力の高い学生が集まってきます。

同時に、本プログラムは、文部科学省・大学の世界展開力強化事業（日-EU戦略的高等教育支援）の支援を受けています。

参加の条件は？

- 東京外国語大学・博士前期課程 8名
- 「公共圏における歴史」およびプログラムへの関心
- 英語の語学力、運用能力
基準：TOEFL iBT 88点、IELTSアカデミック 6.5点、
PTEアカデミック 59点、
ケンブリッジ英検 C2 (C評価)、C1 (B評価) 以上
有効期限2年

プログラムにかかる費用

1. **授業料**は本学授業料のみ(EU側の学費は不要)
2. 留学先での**生活費**(寮、食費、本代など)
 - **JASSOの留学奨学金【協定派遣型】**を優先的に受給可
 - ① 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者(特別永住者を含む)
 - ② 前年度の成績評価係数(GPA)が2.30以上である者
 - ③ 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者として認められる者
3. **渡航費**(2往復分)
 - 一定の家計基準を満たす場合は渡航支援金(32万円・1回限り)の申請も可能(家計基準は厳しめ…)

JASSO奨学金（協定派遣型）の支給金額例

滞在都市・国	ハンガリー	オーストリア	ポルトガル	イタリア	パリ
月額	7万円	8万円	8万円	8万円	10万円

どんな準備をすればよい？

- 英語の授業に慣れる
- 記憶や歴史認識にかかわる本をあらかじめ読んでおく
(英語／日本語)
 - 議論の全体像を把握する
 - 英語のテクニカルタームを把握しておく

もっと知りたい方は・・・

4月7日(水)12:00～ Zoom

大学院生向け説明会

詳細は👉 <http://www.tufs.ac.jp/hips/>



または、HIPSプログラム事務局までメールで！

tenkai-hips-coordinator@tufs.ac.jp

JETROアジア経済研究所 開発スクール (IDEAS) 研修プログラム

武内進一

(現代アフリカ地域研究センター)

shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp

どんなプログラム？

- ▶ 発展途上国研究機関が、途上国若手官僚向けに行う研修プログラムです。
 - ▶ アジア、アフリカの15か国以上から若手官僚が参加します
 - ▶ すべて英語で行います
- ▶ 東京外国語大学の院生は、その研修に参加することで単位を得ることができます。（2019年度まで8単位、2020年度は6単位）
 - ▶ 国際関係研究1～3（「IDEAS国際開発論講義」(1)～(3)）を受講します。
 - ▶ 秋学期に、アジア経済研究所（千葉市）、もしくはオンラインで授業を受けます（これまでの実績は、45コマ～60コマ）。
- ▶ 研修の内容は、国際開発に関わります。
 - ▶ 国際貿易・投資・金融
 - ▶ 国際開発（SDGsなど）
 - ▶ 日本の開発経験
 - ▶ 海外開発専門家による集中講義
 - ▶ ゼミナール（修了論文執筆）

JETROアジア経済研究所とは？

- ▶ 発展途上国に関する研究機関
 - ▶ JETRO（日本貿易振興機構）の付置研究機関
- ▶ アジア、アフリカ、中東、ラテンアメリカ、開発経済学の研究者約100名が所属
- ▶ IDEAS事業は、1990年から継続
- ▶ 2018年度から東外大に開放
 - ▶ 2018年度、2019年度3名ずつ、2020年度1名受講



図書館

こんな人に受講を勧めます

- ▶ 国際開発に関心がある人
 - ▶ 第一線の研究者による講義です
 - ▶ 基礎から学べます
- ▶ 実務家を目指す人
 - ▶ アジア、アフリカの若手官僚とのネットワークができます
- ▶ 英語は心配しないで
- ▶ 日本経済新聞が読めれば、何とかかなりります。あとは本人の意欲
- ▶ 受講者には、アジア経済研究所でブース、PC等が貸与されます。
- ▶ 外大生が書いた修了論文
 - ▶ ウガンダの難民政策
 - ▶ モロッコの反テロ政策
 - ▶ 中国のEコマース
 - ▶ 東チモールの開発と文化
 - ▶ アンゴラの持続的経済開発
 - ▶ タシケント市の都市開発
 - ▶ ウガンダの開発政策

注意点

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、変更の可能性があります
 - ▶ 詳しくは、春学期中の説明会で説明します（6月を予定）
- ▶ 千葉市幕張のアジア経済研究所で、秋学期に開催されます。
 - ▶ 毎週月～金曜日、10:30～17時の枠のなかで授業が行われます
(1限：10時半～12時、2限：13時半～15時、3限：15時半～17時)
- ▶ 受講料（9万7千円／12万8千円。一部大学補助あり）と交通費は受講生の負担となります。

- ▶ 関心がある人は、武内まで
 - ▶ shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp

CAAS/NINJAL ユニット

国際日本学研究院に置かれた研究組織（ユニット）

日本研究の世界的拠点 → CAAS 特別招へい教員
世界の日本語研究を主導する → NINJAL 教員

* 東京外国語大学の「日本」に関する研究・教育を
高度化

CAAS とは

Consortium for Asian and African Studies
アジア・アフリカ研究教育コンソーシアム

フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO) (フランス)

ライデン大学 (オランダ)

上海外国語大学 (中国)

韓国外国語大学校 (HUFS) (韓国)

ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院 (SOAS) (英国)

コロンビア大学 (米国)

東京外国語大学 (TUFS) (日本)

NINJAL とは

National Institute for Japanese Language and Linguistics
国立国語研究所

- 対照言語学
- 方言研究
- 日本語の歴史的変化の研究
- コーパス開発 など

Japan Studies

「Japan Studies」 (国際日本専攻 専攻科目)

- 国際日本専攻以外の学生も履修可能
 - * 修得単位については履修案内を確認のこと
- CAAS教員の授業は英語開講
 - * 詳細については、授業時間割・シラバスを

大学院学生 への支援

2021年4月5日

東京外国語大学

大学院総合国際学研究科

主な大学院学生支援

1. 大学院学生研究室
2. コピーカード
3. I L Lの一部経費負担
4. 各種プログラムによる支援

大学院学生研究室

場所： 研究講義棟 4F 401室

利用時間： 8時～23時（月～金）

8時～20時（土・日）

※ 現在は8時～20時（月～金）

最新情報はHP上の開室カレンダーを確認すること。

院生研究室の構成

- 自習スペース (401-A・50席)
- インターネットアクセススペース (401-D・54席)
- ミーティングスペース (401-F・401-G)
- ラウンジ (交流スペース)
- 複合機

401-A



401-D



ラウンジ（交流スペース）



コピーカード

- 401室にある2台の複合機用
- コピー、又は401室設置のPCからのプリント
- 指導教員の確定後、指導教員を通じて配布



ILLの一部経費負担

□ ILL (Inter Library Loan)

図書館間で行なわれる図書相互貸借制度

- 本学大学院生については、返却にかかる費用を研究科で負担

※ 一部の提携大学図書館では、コロナ禍のためILLを停止している場合があるので、附属図書館ホームページを確認すること。

TUFSサマースクール

- 本学に所属する大学院生有志による、課外活動の一環です。皆さん**大学院生**が、**夏季限定**で**語学講師**となります。
- 大学院生に対して**教育研究の機会**を与えると同時に、その研究成果を社会に還元することを目的として、毎年夏期休暇を利用して、中学生、高校生から広く一般の方までを対象に**各専攻語の講座**を開設しています。

安心安全な研究環境を

迷惑行為は、してはいけません
(大声で話す、研究室内での電話など)

犯罪行為は、してはいけません
(暴力、つきまとい(ストーキング)、盗撮、
のぞき、窃盗など) **懲戒処分の対象**



大学

これらの行為を見たり聞いたりした
ときは、学生相談室・学生課・指導
教員を通じて大学に連絡しましょう。



TUFS修学支援制度（大学院）について



2021年4月5日

@研究講義棟 1階 101教室

TUFS修学支援制度とは

ご説明します



- 入学料免除制度と授業料免除制度
- 第一次募集と第二次募集の2種類
- 第一次募集、第二次募集、多文化共生イノベーション研究育成フェローシップ (MIRAI) 奨学生制度は併願することが可能【博士後期課程のみ】
※採用はいずれかの制度によります

第一次募集枠での支援内容

【博士前期課程】

入学料免除：

特別選抜（推薦入試）により本学大学院博士前期課程に進学する者の内、成績上位30名
Peace and Conflict Studies コース進学者の内、成績上位5名

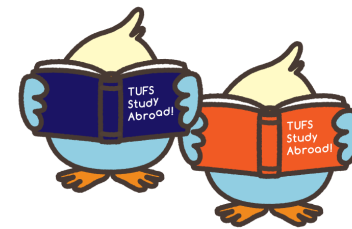
授業料（全額または半額）免除：

特別選抜（推薦入試）により本学大学院博士前期課程に進学する者の内、成績上位20名
Peace and Conflict Studies コース進学者の内、成績上位5名

【博士後期課程】

授業料半額免除：

本学の博士前期課程から博士後期課程に進学する者の内、成績上位10名



第二次募集枠での支援内容

【博士前期課程】

授業料半額免除：

博士前期課程の4月入学者の内16名、10月入学者の内4名を授業料半額免除

【博士後期課程】

授業料半額免除：

博士後期課程の4月入学者の内8名、10月入学者の内2名を授業料半額免除



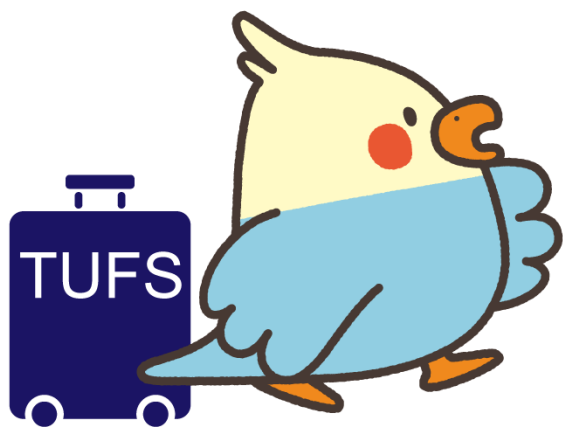
選考方法

【第一次募集】

学部及び博士前期課程の成績による選考

【第二次募集】

書類選考（経済的困窮度と入学試験の成績）及び面接による選考



その他

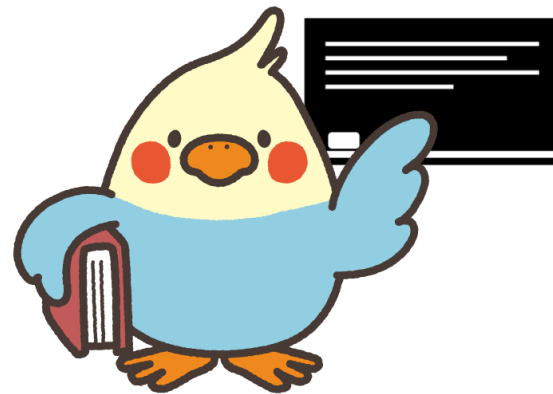
- ・本制度に関する詳細情報は、下記サイトに掲載予定

http://www.tufs.ac.jp/student/tuition_scholarship/exemption.html

※大学HPにて「授業料免除」と検索

- ・学生課への問い合わせフォーム

<https://business.form-mailer.jp/fms/56c37f09119375>



ありがとう

